

『環境計量士国家試験問題の正解と解説・第 42 回』訂正表

H28.11.7

頁, 行, 問題番号	誤	正
7 頁上 2 行目	平成 28 年 3 月 6 日(日)に実施された第 66 回計 量士国家試験	平成 28 年 3 月 6 日(日)に実施された第 65 回計量士国 家試験
7 頁下 2 行目	①専門 2 科目の合計 100 点以上 (25/50 問)	①専門 2 科目の合計 108 点以上 (27/50 問)
8 頁上 8 行目	①専門 2 科目の合計 112 点以上 (28/50 問)	①専門 2 科目の合計 104 点以上 (26/50 問)

3.4 第 66 回計量士国家試験における環境計量士関係合格者数等

平成 28 年 3 月 6 日(日)に実施された第 65 回計量士国家試験における環境計量士関係の合格者数等及び合格基準は表 3 及び表 4 のとおりです。

表 3 第 65 回計量士国家試験における環境計量士関係の合格者数等

	濃度関係	騒音・振動関係	環境計量士合計
出願者数 (A) 前年比	4,930 95.7%	1,336 94.0%	6,266 92.8%
受験者数 (B) (注) 前年比	3,239 96.7%	883 96.8%	4,122 96.8%
合格者数 (C) 前年比	496 101.2%	142 92.8%	638 99.2%
受験率 (B/A) 前年	65.7% 65.0%	66.1% 64.1%	65.8% 64.8%
出願者数に対する合格率 (C/A) 前年	10.1% 9.5%	10.6% 10.8%	10.2% 9.8%
受験者数に対する合格率 (C/B) 前年	15.3% 14.6%	16.1% 16.8%	15.5% 15.1%

(注) 受験者数 (B) は、定められた試験科目の全科目を受験した者の数である。
(出典) 経済産業省産業技術環境局知的基盤課計量行政室発表資料

表 4 第 66 回計量士国家試験における環境計量士関係の合格基準

(1) 環境計量士 (濃度関係) の合格基準

次の①及び②を満たすこと。ただし、「免除あり」受験者は①を満たすこと。

①専門 2 科目の合計 108 点以上 (27/50 問)

<環境計量に関する基礎知識 (化学), 化学分析概論及び濃度の計量>

I 環境計量士について

②共通2科目の合計 120 点以上(30/50 問)

<計量関係法規, 計量管理概論>

(2)環境計量士(騒音・振動関係)の合格基準

次の①及び②を満たすこと。ただし「免除あり」受験者は①を満たす

こと。

①専門2科目の合計 104 点以上(26/50 問)

<環境計量に関する基礎知識(物理), 音響・振動概論並びに音圧レ

ベル及び振動加速度レベルの計量>

②共通2科目の合計 120 点以上(30/50 問)

<計量関係法規, 計量管理概論>

(出典)経済産業省産業技術環境局計量行政室発表資料

4. 一般社団法人日本環境測定分析協会と環境計量士国家試験

一般社団法人日本環境測定分析協会では、環境計量士を受験される方を対象にして、講習会の開催、受験参考図書の発行等の事業を実施しております。

○講習会の開催

10月又は11月に東京と大阪で環境計量士受験準備講習会を開催しました。1月又は2月には、同じく東京と大阪で環境計量士受験直前講習会を開催しております。日程等詳細については協会ホームページをご覧ください。

○受験参考図書の発行

一般社団法人日本環境測定分析協会では、本書の巻末に掲げるような環境計量士受験のための参考図書を刊行していますので、ご活用下さい。